

8月15日は終戦の日 “ まもる君10歳の体験談 ”

～戦時中の吹田での体験を当時10歳のまもる君が語ります～



▼戦争の悲惨さを伝承する難しさを感じています。それは語り継ぐお年寄りの高齢化です。そこで、「語り継ぐ大切さの理解と啓発」を目的に、吹田市吹一・吹六地域包括支援センター主催で、おもしろ亭福祉カフェ・リトを会場に「戦時中JR吹田駅にも爆弾が投下された」ことなどの話を聞くことになりました。



▼10歳当時の貴重な体験をお聞きしました。使われていた蒸気機関車の模型（坂本さんの自作）や、



福祉カフェ・リトに集う地域の高齢者のなかでも最高齢91歳の吹田市在住、坂本衛（まもる）さん

灯火管制（夜間の照明使用制限の法律）で使った黒い電球、父親の形見の鉄兜など、一つ一つの過去の記憶がよみがえる遺品を手に、熱のこもったお話が繰り広げられました。▼防空壕での体験では「アメリカ軍のB29爆撃機が四国沖から大阪に飛来し、その



→黒い電球を手に説明
←お父様の形見の鉄兜



ていれ、1設鉄月昭報れ避約さ隊作撤爆リ見目2日2令わ投ては▼
いま、ト工事吹田3日53まじる難2れに業去弾力つにの22和れる下いその戦
す。全トン事田日年(1978)るなど勧0、よが・と製の建吹年4るされ、後の
国、一爆に駅と10月5日)はるな告0周つ陸信思のつ設現7月(2年爆たこの続
一、二弾の前の再開発ビル建た大0辺て上管わ1たア場3月(2年爆たこの続
二、三弾の処理作業が行ったさに出人住実自除れトア場3月(2年爆たこの続
三、四弾の処理作業が行ったさに出人住実自除れトア場3月(2年爆たこの続



のまま北摂にも爆弾投下し、多くの市民が犠牲になった。防空壕に避難し、父親から譲られた鉄兜をかぶり恐怖の一夜を過ごした。」というものでした。

▼このお話会で「吹田駅前に爆弾が落とされたこと、一般市民も犠牲になったこと、そんなことが本に記されたのですか？」という参加者の質問に、

ご利用の坂本さんのお話で、皆が涙する一幕も多々あり、有意義な時間となりました。坂本さん！これからもお元気で、ますます語り続けてください。

(コミキャン会館室・柳谷)



第157号

大阪市東淀川区
上新庄2-1-40
TEL : 06-4862-6057
<http://www.communitycampus.jp/>
コミキャン編集委員会
発行者
社会福祉法人
コミュニティキャンパス

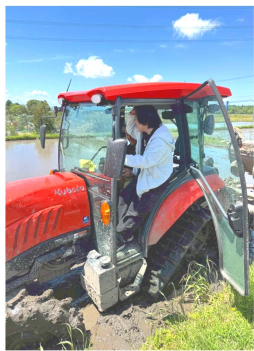
コミキャン新聞に掲載された情報(写真等)の著作権・肖像権は全て当該メンバーさんの保護者の方々と社会福祉法人コミュニティキャンパスに帰属し、無断でこれを複製、利用することを固く禁じます。

●お願い

この広報紙は、福祉事業の一環としてメンバー(利用者)が地域の皆様に手配りさせていただいています。どうぞご理解いただきますようお願い申し上げます。



田植え体験に行きました



コミキャンのみなさんが、通所事業所やグループホームの多くで、育農会の農家・大塚さんのお米を使用して食事を提供しています。コミキャンのみなさんが、お米を植えるに行こうということ、食育・仲間意識の向上を目的に、5月9日に滋賀県蒲生郡日野町まで、給食を担っているポコポコ亭のメンバーさんと職員で行ってきました。



滋賀県は晴れていましたが、風が強く肌寒い日となりました。手作業の田植え体験でしたが、想像以上に難しく、真つすぐな列に植えることができたのは、少数でした。そんな様子を見ると、メンバーさんそれぞれ、個性がわかりやすくて、表現されていて、肌寒い中でも泥まみれで皆さん取り組んでいました。



田植え終了後は、お土産として大きな朝採りサニーレタスを頂きました。

帰りに道の駅アグリパーク竜王で近江牛の昼食を食べ、お土産を購入し帰路につきました。



(就労総合センター・小村)

早朝に集合し、田植えの体力も使ったので行きも帰りも皆さん寝ておられました。事故無く帰ってこれたが、数年前から大塚さんに相談していたので実現できて感謝しています。



コミキャンの生活訓練

2026年6月24日(水)

このゆびとまれ「外出学習」しました



当日は非常に暑い日となり、不安そうなお様子が見られるメンバーさんもありましたが、一人ひとりが自分で切符を購入し、一駅区間の電車に乗ることができました。



公共交通機関の利用方法を学び、自分で切符を購入することや電車に乗る経験を積むこと、また買い物や人混みに慣れることを目的に「外出学習」を実施しました。当初は遠足を予定していましたが、利用者の皆さんが安心して公共交通機関を利用できるよう、まずは基礎的な練習を行うことに。



ます。

その後は、買い物の商品も挑戦し、自分で商品を選び、会計まで行きました。職員と一緒に確認しながら、公共交通機関の利用や買い物の良い機会になったと思います。



今後、少しずつ経験を重ねてもらい、自立した生活につなげる支援を行っていき考えています。

(このゆびとまれ・原)

西河原コミキャンの活動、紹介します

▼西河原コミキャンでは、西太田集会所（茨木市）に月に1度、第2水曜日に社会貢献のひとつとして、老人会の際に使用する椅子・テーブルなど設営のお手伝いを、西河原コミキャンの就Bチームが行っています。



メンバーさん達は少し緊張しながらも、しつかりと挨拶をして、靴を揃えて入室。事前にホワイトボードに書いてくださった配置図に基づいて設営していきま

▼6月2日(火) 茨木市の文化・子育て複合施設「おにクル」のホールを利用して
＊レインボーサークルに所属している茨木市内18か所の作業所が集まり、カラオケ大会を行いました。
今回のカラオケ大会には西河原・橋の内コミキヤンのメンバーさん達も、日々の練習を重ねた上で、参加しました。
「ケセラセラ」と「虹」を

歌いました。特に「ケセラセラ」は歌詞も音程も難しく、歌い終わったら後には観に来てくださった保護者さんや関係者の方々から「難しい歌をよく頑張ったね!」「感動しました」と言っているんだ。メンバーさん・スタッフ共々に達成感に繋がりました。

又、来年も皆さんで元気にいっぱい参加したいです!



＊レインボーサ
クルは・・・
茨木オークライ
ンズクラブさん
協力のもと、茨
市内にある障害
通所施設の半数
以上が加入して
いるサークルで
、運動会やバザ
ー、カラオケ大
会など一年を通
して色々なイベ
ントをみんなで
盛り上げていま
す。



大阪府では
自転車保険に加入
しなければなりません。

大阪府自転車条例により、自転車利用者は自転車保険の加入が義務化されています。

もしも、自転車事故で加害者になったら、

高额賠償事例

賠償額 9
(補正地裁 平成25年7月判決)

小学生が夜間、自転車で帰宅途中に、歩行中の女性と正面衝突。
女性は頭蓋骨折等で意識が戻らず、監督責任を問われた保護者に賠償命令。

保険の加入確認にご協力を!!

まずは、加入している保険の補償内容を裏面からご確認ください。
あなたは、すでに保険に入っているかもしれません。

[詳しくはここをクリック→](#) [おおさか自転車ほけん](#) [検索](#)

QRコード
083-795
0-1577

ケートでは9割が内
足と回答していただ
き、4月1日交通違
反通告制度が始まり
心配していた部分が
解決したとの声もあ
りました。

橋の内ミキヤン・
渡邊

「自転車の安全利用」をテーマに、6月15日「令和8年度第一回法人研修」を内本町コミュニティセンター3階で行いました。

参加者21名及び研修委員4名。

講師は吹田警察署・交通総務課の担当職員。自転車交通ルールについて講義していただきました。

アンケートでは9割が内
容に満足と回答していただ

令和8年4月1日施行

自転車の交通違反が、 青切符の対象に!

「青切符(交通反則通告制度)とは?」

比較的軽微な交通違反に対し、交通反則処罰書(青切符)が交付され、違反者が反則金を納付すれば罰事典に科されない制度です。

自転車の青切符の対象となる違反行為の一例

携帯電話の使用等(保持) 反則金 12,000円	信号無視 反則金 6,000円	歩道通行 反則金 6,000円
進路断切入り 反則金 7,000円	車道の右側通行(左走) 反則金 6,000円	一時不停止 反則金 5,000円
並進 反則金 3,000円		

その他の主な違反と反則金一覧

- 横断歩行者等妨害 ... 6,000円
- 傘さし運転 ... 5,000円
- 無灯火 ... 5,000円
- 2人乗り ... 3,000円

赤切符について

交通安全のため、特に悪質性・危険性が高い違反行為については、これまでに通り**赤切符**を発行する対象で、罰事典に基づく処分が行われます。

有罪ならば無料!

自転車を安全に
利用するために
令和8年度第一回コミキャン研修

摂津コミキャン、授産品で

「摂津市・市制施行60周年記念事業」

に協賛しています！



▼令和8年11月1日に市制施行60周年を迎える摂津市。日頃から摂津市内のイベントにたくさん参加しており、何か摂津コミキャンとして協賛できないかと考え、広報課に「授産品に摂津市市制60周年ロゴマークを使用して販売すること」を提案させていただいたところ、採用いただけることになりました。

▼授産品は、毎日利用者さんが一生懸命つくっている



（摂津コミキャン・角田）
とっても可愛い
↑セッピーのマーク
が目印です。

手織りやクッキーをメインに、「摂津ロゴXコミキャン販売プロジェクト」として令和8年度中、様々な物販で販売していきます。

▼4月の初めての販売では多くのお客様が手に取ってくださいました。利用者さんも毎回、張り切って販売しています。



吹田市認知症サポーター養成講座

令和8年6月12日（於）福祉カフェ・リト
主催：吹田市
吹一・吹六地域包括支援センター

認知症になっても安心して暮らせるまち吹田をめざして、共に学び、地域で支え合いましょう

また、職員は、認知症サポーターとして、地域の認知症の方のサポートに協力をお願いします。



▼協力の目的
現在、福祉カフェ・リトが地域の高齢者の集いの場になりつつあります。そこに集う地域住民が養成講座を受け、気付きを得て、お互い支え合える地域になればと思います。



訂正記事

訂正分はホームページをご覧ください。



前回のコミキャン新聞第156号の「月村さん追悼」の記事で、名前表記に誤りがありました。正しくは「月村和夫さん」でした。訂正してお詫びいたします。

▼受講の感想
「認知症とは、「忘れやすい」「怒りっぽくなる」「認識が低下する」など、当事者の話を聞いて、心情的に受け入れられないことが多く、家族だけでは学ばないことを、家族だけでなく地域の皆さんにも関わりを増やして地域に貢献したい」と感じました。

認知症の症状が出てくる方が、他の病気と違って、可能性もいろいろある中で、早期発見や医療に繋ぐことができればいいです。（ポコポコ亭・小倉）



本講座受講者に授与される「ブレスレット」